

時間割コード	G1B30016	開講年度	2026					
授業題目	キャリア形成論				担当教員	勝亦 達夫		
英文授業名	Career Development II							
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	水曜・4時限	対象学生	全	
講義室	東洋計器講義室（20番講義室）		授業形態	講義	遠隔授業科目		備考	【地域】
信大コンピテンシー	該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】			
	大学DP							
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力				【授業の達成目標】 ・自分の興味・関心を知り、大学生活での自身の学びの目的と目標を主体的に考えることができるようになる。 ・様々なキャリア（職業や働き方）があることを理解し、社会活動に積極的に参加できるようになる。			
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、芸術文化、環境共生、多文化協働、健康長寿、防災減災、キャリア							
(3)全学横断特別教育プログラム	ローカル・イノベーター養成コース、ストラテジー・デザイン人材養成コース、ライフクリエイター養成コース、グローバルコア人材養成コース・BASIC(日本理解)							
(4)授業の概要	業界や職業を知ることによって働く姿を想像し、大学で学ぶことが社会にどのように活かせるのかを考えます。働く前に知りたい法律の知識やポジティブに考える方法について学びます。講義には、企業や自治体・NPO等の団体の方をゲストにお招きし講演を頂き、キャリアの多様性を知る機会を持ちます。							
(5)授業のキーワード	キャリア、ワークライフバランス、コミュニケーション、プレゼンテーション、目的思考、アントレプレナーシップ、ポートフォリオ、課題解決、論理的思考、まちづくり、公共、信州志向、地域志向、地域活性化、地方創生、地域運営、多文化協働、キャリア、実務経験、グループワーク、フィールドワーク、データ分析、リカレント、リスキリング、ESG、食、インフラ、観光、交通							
(6)授業計画	1．オリエンテーション～本授業について理解する。 2．実践課題の説明、自己分析：社会人基礎力とポートフォリオ 3．業界・企業について理解する～業界研究と職業興味 4．キャリアの多様性を知る～自己ブランディング 5．キャリアの多様性を知る～キャリアアップと転職 6．キャリアの多様性を知る～地域にかかわる仕事 7．企業について知る～キャリア形成イベントへの参加 8．災害やアクシデントに備える～保険について考える 9．キャリアの多様性を知る～空き家問題と相続 10．マインドデザイン～様々な考え方を学ぶ 11．企業について知る～キャリア形成イベントへの参加 12．キャリアの多様性を知る～これからの仕事、これからの働き方 13．キャリアの多様性を知る～金融リテラシーとグローバル経済 14．「プレゼンテーション」各自のキャリアヴィジョン 15．「授業の総括」本授業で得た知識について理解する 11月の第3土曜日に開催するキャリア形成イベント「大しごとーク」へ参加							
(7)成績評価の方法	毎回、授業の理解度を確保するための課題をeALPSで実施します。【15回×5点＝75点＋加点】 第15回目に最終課題を課し内容を評価します。【15点】 授業で学んだことで自分がどれだけ成長できたかを自己評価とエピソードで記述します。レポートの形式や提出方法は授業内で伝えます。 11月の第3土曜日に開催するキャリア形成イベント「大しごとーク」への参加を講義と位置付けます。受講申請の段階で日程を確保してください。 課外活動、社会的活動による加点をします。評価方法は授業内で指示します。 【最大10点】							
(8)成績評価の基準	各回の課題と、発表内容、レポートは下記の項目で評価します。 (1) 社会に必要な知識・スキルを理解している。 (2) 授業内容を良く理解している。 (3) 授業で学んだ知識・スキルを使うことができる。 (4) 適切な考察をし、自分自身の見解を提示している (5) 教員を感心させるレベルにある。 期末時にすべての合計点を基に、授業の達成目標に対して5段階で判断を行う 90点以上:秀(基準から卓越している) 80点以上:優(基準よりも、かなり上にある) 70点以上:良(基準よりも、やや上にある) 60点以上:可(基準を満たしている) 59点以下:不可(基準を満たさない)							
(9)事前事後学習の内容	自身を成長させるためのヒントは身近なところにあります。身近な事例を授業の中で紹介するので、普段から本や新聞を読み、様々な情報を収集するとともに、身近な社会人と対話をしてください。 毎回の授業でメモを採る習慣を持ち、授業中にノートをつくりましょう。授業で使ったスライドはeALPSにアップするので、復習に用いてしっかりと理解を深めてください。 授業内で事前事後の課題を提示します。eALPSに必ず提出するようにしましょう。 この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学習が必要となります。また、授業内で課外活動（フィールドワークやアウトキャンパス）の情報をお知らせしますので、積極的な参加を期待します。							

(10)履修上の注意	・本授業は対面を原則とし全ての回に出席することを基本とします。 ・他キャンパスからの受講ややむを得ない事情がある場合、オンライン受講を可能とします（届出制）。 ・授業の出欠は、出席確認システムと毎週の課題の提出で確認します。なお、QRコードを読み取れる端末を忘れた場合は、当該授業終了後に速やかに申し出てください。授業の出欠は、出席確認システムのみで行います。なお、不正な出席登録があった場合は、単位を認定しません。 ・ゲストスピーカー（社会人）をお招きしますので、講義を受ける学生としてのマナーを守りましょう。
(11)質問、相談への対応	・質問や相談は授業中もしくは終了後に受け付けます。 ・授業時間外の相談は、オフィスアワー（火2限）に受け付けます。場所は、共通教育第1講義棟北校舎2Fキャリア教育・サポートセンター教員室か南校舎4階研究室です。（電話：0263-37-3348） ・授業時間外での連絡は、メール：career@shinshu-u.ac.jpにお願いします。
(12)授業への出席	全ての回に出席することを前提とします。他キャンパスからの受講も可能なためオンラインを併用します。授業の出欠は、毎週の課題の提出で確認します。なお、止むを得ない事情により提出などができなかった場合は、授業後に担当教員に申し出てください。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	eALPSに掲載する授業の動画を視聴し、課題に取り組むことを学修の補充とする。
【教科書】	指定しない。必要に応じて資料を配布します。
【参考書】	必要に応じて授業の中で紹介します。